

研修会のねらい

臨床検査部会では、「臨床検査室の未来を考える」をテーマとし、12月18日(水)に、東京(於：全国都市会館)で、コロナ禍から5年ぶりの集合研修会を開催いたします。

本研修会では、すべてのセッションで、グループワーク(あるいはワークショップ)を行い、参加者の方にご参加いただきながら、学びを深めて参りたいと考えております。

講演Ⅰでは、臨床検査部会の前部会長である、齋藤勝彦先生(富山市民病院 病理診断科 前副院長)から、「臨床検査部会の歩みと今後の期待(仮題)」という演題でご講演いただきます。

齋藤先生は、1998年度から2023年度までの26年間、臨床検査部会役員をつとめられ、数多くの部会活動(研修事業、調査、診療報酬対策等)で中心を担ってこられました。

今回、臨床検査部会の歩みをお話いただくとともに、検査部門の未来像についてグループワークを行っていただきます。

講演Ⅱでは、数多くの医療機関で講演実績のある、梶優展先生(アボットジャパン合同会社 カスタマーエクスペリエンス テクニカルスペシャリスト)から、「10年後の臨床検査の発展のために今できることを考える」という演題でご講演いただきます。

梶先生からは、「スタッフの生産性の向上を考える」「チーム医療・多職種連携・タスクシフト/シェア」の2つのテーマで、ワークショップを交えてお話いただきます。

是非、全国から多数のご参加をお待ちしております。